



憲法改悪を許さず、 平和を守る(上)

憲法調査会がつくられ改悪準備が進む中で、1964年「改憲阻止」日本縦断大行動が生まれ、日本婦人会議も北海道、沖縄、福井からの3コースを、旗とたすきとノートをリレーして1カ月半、東京の10万人集会へとつなぎました。福井では、手づくり人形で資金作りをしました。



ベトナム戦争が激化するなかで、日本本土は米軍の補給基地となり、沖縄の嘉手納基地は前線基地になりました。日本婦人会議は、ベトナムの絵はがき運動、沖縄返還を訴える「沖縄の日」戸別訪問など、女性の創意をいかした独自行動を行いました。



1967年清水澄子が事務局長になりました。「富士をベトナムにつなぐな」と米軍の北富士演習場に座り込む忍草母の会とともに「富士を平和の山に婦人連絡会」を結成しました。その後、忍草母の会と成田新国際空港設置に反対する三里塚婦人行動隊とをつなぎ、「土地は千年、金はいっとき」と激励集会ももちました。